

令和5年度香美市子ども読書活動推進委員会 議事概要

日時 令和6年2月22日(木) 14:00～15:20

場所 香美市立図書館かみーる つながるーむ

出席者

委員 大井厚志、島内貴美、宮原理香、島村万紀、森田美穂、

欠席者

委員 小松由香、中島敦子、二宮景子、公文まき
(後日、文書にて意見を集約)

事務局

門脇真里(館長)、土居正和、山重壮一、坂本真奈

1.第三次香美市子ども読書活動推進計画の進捗について

(1)家庭・地域における取り組み・現状と課題

【山田】

- ・読み聞かせの実施
(かみーる、山田小学校、楠目小学校、香長小学校、第二土佐山田幼稚園、鏡野中学校)
- ・ブックスタート事業に参加
(近頃は乳児健診に父親が参加されているのが増えてきておりうれしい。)
- ・読み聞かせメンバーが増えずに困っている。
(社協を通じて募集をかけているが、まだまだ十分ではない。)

【香北】

- ①詩とメルヘン絵本館のイベント参加
・やなせたかし・田島征三の記念イベントにて、おはなし会を実施した。

②読み聞かせ

〔大宮小学校〕

- ・第2・4金曜日8:15～8:30 1年生～6年生のたてわり班(14班)の子どもたちに本を読んでいる。
終了後には読んだ本の交流会を行っている。
- ・第1・3金曜日8:15～8:30 地域の人(3名)が本を読んでいる。
- ・7月には「平和」のテーマでの本を読んだ。

〔保育園〕

- ・今年度から第2・4金曜日に小学校から移動し、年少～年長までの園児に本を読んでいる。
- ・1歳～2歳の園児とも本を読みながら遊んでいる。

③おはなし会

- ・毎月第3土曜日、図書館でおはなし会を行っている。テーマを決め、本を読んだり、手遊びや歌なども行っている。
- ・8月、12月、3月には小人向け、大人向けの映画会を実施した。

〔課題〕

- ・図書館でのおはなし会、映画会では参加人数が少なく、増やしていくのが課題である。

【物部】

- ・おはなしクラブのメンバーが大柄小学校、大柄中学校にて読み聞かせを行った。
- ・かみーるでも実施した。

(2) 幼稚園・保育園・学校における取り組み・現状と課題**【幼稚園】**

- ・親子で絵本に親しむ機会を設けるために、一週間に一度の絵本の貸出
- ・地域のボランティアの方の月2回程度の読みがたりの実施
- ・多くの本に出会えるように「移動図書館」「かみーる」の本をお借りし貸出している。
- ・一日の保育の中で、絵本や紙芝居に接することができるよう計画している。
- ・絵本コーナーを保育室だけでなく設け、好きな本、興味のある本をいつでも子ども達が手にし、本に親しめる環境を設ける。

【課題】

- ・家庭で保護者が貸出の絵本を子どもに読みがたりをする機会が少なくなり、字が読める子どもは自分で読んでいることが多いになっている。
- ・季節に応じた本の選書

【保育園】

- ・各クラスに絵本を設置しており、季節によって絵本を変えている。
- ・各家庭への貸出を行っている。
- ・園児のリクエストに応じて選書をしている。
- ・職員室前に絵本コーナーを設置している。

【小学校】

- ・読み聞かせ会や地域の方々に読み聞かせをしてもらっている。
- ・読み聞かせメンバーが高齢化で不足してきている。
- ・児童からのリクエストを募って選書しようか考えている。
- ・図書館の利用については、タブレットを使用しても分からぬ箇所を調べたりするのに活用している。
- ・読書好きは9割程度いるが、自宅で読んでいるのは4割程度というアンケート結果がある。
- ・保護者が子どもと一緒に読書をしてもらうよう促しているが、なかなか進んでいない様子。

【小学校】

【読書週間の形成】

①全校一斉読書の充実

- ・「朝読書」の実施(8: 15～8: 25水曜日を除く毎朝)
- ・読み聞かせボランティアさんによる読み聞かせ(毎週木曜日・朝読書の時間)

②読書に親しむ機会づくり

・図書担当による図書館の利用指導

- ・オリエンテーション(全学年全クラスに実施4月～5月)
- ・「ビブリオバトル」の実施。(1学期に4年生、2学期に5年生)

・「読書チャレンジ」の実施(決められた期間、自分で読書の目標冊数を決めて目標が達成されるように取り組む。学期に1回、計3回実施)

・「図書館bingo」の実施(決められた期間、図書館の1類から9類までの本を読んでbingoカードにスタンプをもらい、bingoすることを目指す。2学期に実施)

③親子読書の充実

・1年…借り替えを行った日は親子で読書をして、感想をカードに記入(通年)。

・2年…週1回(土日などに)親子で読書をして、感想をカードに記入(通年)。

・3年、5年…冬休みに親子で読書をして、感想をカードに記入。

④各学年の推薦図書の共通理解

・「すいせん図書」各クラス40冊程度を配置。すべて読み終わった児童に表彰状を贈呈。

⑤支援を必要とする児童・生徒への読み聞かせ

・6年生ボランティアによる1年生への読み聞かせ(1学期の朝読書の時間)

【読書センター及び学習・情報センターとしての機能の充実】

①図書資料のデータベース化…できている

②教科書関連の図書資料の充実…できている

③本の除籍、計画的な入れ替え…できている

【児童生徒の自主的な活動】

①図書の紹介や読書量の報告…季節に合わせた図書の別置。新しい本のコーナーを設置。学期末に図書の貸し出し冊数のお知らせ

②読書活動の体験…「雨の日の読み聞かせ」(6月の雨の日、1.2年生を対象、休み時間に実施)

③こども司書養成講座…5年生2名が参加

④図書館学校への参加…4年生から6年生の11名が参加

⑤図書委員会活動の活性化

・集会やポップで「図書委員のおすすめの本」を紹介

・雨の日の読み聞かせ(1.2年生を対象に6月の雨の日の休み時間に実施)

・「読書郵便」の実施(秋の読書週間に合わせて実施)

・図書館キャラクターの募集。図書館にキャラクター掲示。

【読書活動への理解を深めるための啓発活動】

・「読書祭り」の実施(2024.1.26)

・「こどもの読書週間」「読書週間」に合わせた企画の実施

・図書館だよりの発行(1回/月)

【研修の充実】

・メンター会において高知県教育委員会作成の動画「どうする学校図書館～分類配架ってどうするの～」を視聴□

・学校図書館推進委員会に参加(図書館担当・年間5回)・四国地区学校図書館研究大会【高知県大会】参加2名 書感想文コンクール審査会へ参加3名

【課題】

△様々な取り組みで読書の楽しさを知り進んで読書をする児童がいる一方で、読書への苦手意識をぬぐい切れず、図書の本を年間に数冊しか借りていない児童がいる。

△図書館だよりの発行時期を逃し、定期的な発行ができない月があった。

【中学校】

- ・生徒への投げかけにより読書に対して、生徒が主体的になれることが分かってきた。
- ・リクエストBOXを設置し、成功した。
- ・読書をする生徒と読まない生徒の差が大きい。
- ・放課後は部活があり、図書館が閉まっている。
- ・本を読まない生徒がどのように読むようにするのかが課題。

(3)図書館における取り組み・現状と課題

◆図書館資料の整備・充実

今年度は約2,900冊/月で推移しており、かみーる開館によって貸出冊数が増加している。現在、児童・ティーンズコーナーに加えて、教科書コーナー(国語の教科書で紹介されている図書)を設置しており、教科学習にも活用できるように整えている。また、今年度から読売KODOMO新聞の購読を始めた。今後も引き続き整理・買い替え・新たに購入を進めていき、各年代の子どもが興味・関心を高められるように資料の充実を目指す。

◆「子ども司書」養成講座について

今年度は14名が受講し認定を受けた。講義内容を一部見直し、座学にクイズなどゲームを交えたり、バリアフリーサービスの学びを入れたり、Chat GPTを使用したAIについての学びを入れたりした。

昨年度、子ども司書活動として作成に協力してもらった冊子「すぐすぐかみーる」は、引き続きブックスタート事業で絵本と一緒に健診対象者に配付している。

来年度の養成講座については、春頃に各学校へ募集案内を送付する。

◆主催事業(イベントの開催)

【かみーる】

- ・おはなし会
- ・英語のおはなし会(門田あきえさん)
- ・かみーるシネマ
- ・バリアフリーフェスタ(3Dプリンタ一体験、手話・点字のおはなし会、点字名刺作り等)
- ・司書による図書館活用術講座
- ・ブックコート体験講座
- ・よってたかって生涯学習関連イベント(新聞バッグつくり、落語寄席)
- ・手ぶくろ人形づくり
- ・かみーる開館1周年記念スペシャル読書通帳

【香北分館】

- ・おはなし会
- ・どんぐりの会
- ・映画会
- ・文化展
- ・かみーる開館1周年記念スペシャル読書通帳

【物部分館】

- ・おはなし会
- ・映画会
- ・移動図書館(県立図書館)
- ・文化展
- ・かみーる開館1周年記念スペシャル読書通帳

◆ブックスタート事業

今年度から乳児健診の会場がかみーるになり、事業が実施しやすい環境になった。現在は司書1名、山田おはなしの会1名が対応し、絵本、すぐすぐかみーるの配付、読み聞かせを実施している。健診対象者への本の配布率は、現在99%となっている。

館内にブックスタート図書コーナーを設置し、NPOブックスタートの推薦図書を揃え、貸出も行っている。

また、高知県生涯学習課が実施する「本との出会い事業」を活用し、昨年度は香美市の1歳6ヶ月健診児を対象とした「読み聞かせ＆子育て相談会」を行い、今年度は香美市内の保育園・幼稚園等に通う年少児を対象とした読み聞かせ＆絵本のプレゼントを実施している。

香北分館では「どんぐりの会」を子育てセンター美良布で定期的に開催し、テーマに沿ったプログラムを組み、手遊び、わらべ歌、読み聞かせなどの活動を継続して行っている。

◆高知工科大学との連携

【長期貸出図書】

高知工科大学附属情報図書館との相互協力の協定を結んでおり、長期貸出図書の提供を受け、蔵書の充実が図られている。令和6年度以降は当該事業が廃止されるため、新規の提供がなくなるが、図書は引き続き貸出を受ける。

【インターンシップ】

インターンシップの受付も例年行っており、今年度は4名受け入れた。

【KUTサポート】

昨年度から図書館運営を手伝ってくれる図書館サポートを募集し、現在16名が登録している。利用者へのサポート、館内資料整理、新着図書の動画作成、おはなし会参加など、それぞれの得意分野を生かした活動を行ってもらっている。

◆読書バリアフリーの取り組み

昨年度から引き続きオーテピア高知声と点字の図書館のサポートを受けながら、バリアフリーサービスに積極的に取り組んでおり、LLブックスや大活字本、点字図書、布絵本、エンボイコネクト(デイジー図書再生機)、マルチメディアデイジーなどの機器が利用できる。

りんごのたな(すべての子どもに読書の喜びを体験してもらう場所としてスウェーデンで誕生した)を設置し、様々な方法で読書を体験できるようにした。

委員からの質問	事務局の回答
香北分館での居場所づくりの進捗、対策について	<ul style="list-style-type: none">・図書館だけでは解決できない問題であり、早急に解決できるものではないが、課題をどう解決すればいいのか情報を入れながら、市民の声を聴きながら進めたい。・閲覧スペースについては、予約が入っていない時には小会議室を借りている。公民館管理になるため、自由には使用できないが、情報共有しながら連携を図りたい。・美良布保育園の動きも見ながら、総合的に判断し進めたい。

委員からの質問	事務局の回答
<ul style="list-style-type: none"> おでかけ図書館の認知向上について 図書の入替はしているか。 おでかけ図書館の一覧やリーフレットなどを作成してはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域の方には大変喜んでいただいている。 中山間地域や図書館に遠い方へのサービス、役割を果たしたい。 地域の方の認知は進んでおり、利用もされている。 図書の入替は定期的に行っている。 周知については、選書や入替時期等の内容が変更するため、広報に出すのは難しい。効果的な周知について、考えながら進めたい。 一覧やリーフレット作成は検討しているが、時間がなく、手が付けられていない。

委員からの質問	事務局の回答
・外国図書の活用について	<ul style="list-style-type: none"> 高知工科大学の外国図書の貸出パックは現在、全て開架にしている。 今まで保育園、幼稚園に回していたものを開架にすることで、より多くの方の目につくようになつた。 外国籍の方の図書館利用も増えており、外国図書も利用されている。

2.令和6年度の活動について

【家庭・地域】

・今年度に行った取り組みを継続していく予定である。

【幼稚園】

・今年度行った家庭への絵本の貸出、ボランティアの方による読みがたり、「移動図書館」などの利用。
 ・年長児が園外保育で「かみーる」に行き、好きな本を自分で選び、お借りしたのはとても嬉しかったようで、来年度もお願いしたい。
 ・年少児対象の「本との出会い事業」はとても子ども達が喜んでいたので、来年度も実施されるようでしたらお願いしたい。

【保育園】

絵本の登録をし直した事で利用しやすくなった。整理を続けたい。

【小学校】

今の活動は継続していきたい。
 保護者にも読書してもらうよう促したい、地域の方にも利用してもらえるようPRしていきたい。
 教科書に載っている本は全て置いているが、知らない生徒も多い。PRしていきたい。

【小学校】

- ・朝読書は読書に苦手意識を持った児童も本を手にして読むことが定着してきている。
- ・朝読書の時間のルール(時間が来たら好きな本を手に取り、自分の席で10分間読書をする)を徹底していく。
- ・令和5年度に実施した企画を継続するとともに、読書の楽しさをこどもたちが味わうことができるよう新しい企画を考え実施する。
- ・授業の中でも読書する時間を取り入れていく。・新聞の活用を工夫したい。

【図書館】

- ・子ども向け図書の蔵書の充実を図る。(探求学習に使える本等)
- ・学習やコミュニケーションの場を提供する。(学習・読書室、ブラウジングコーナー、飲食室、グループ室、つながる一む)
- ・香美市公式HP、Facebook、Instagramなどで情報発信を行う。

委員からの質問	事務局の回答
<ul style="list-style-type: none">・かみーるの蔵書冊数は多いが、香北分館の方が配置等も見やすく魅力に感じる。・新着本も少ないように感じる。・香北分館や物部分館に良い本があるように感じる。	<ul style="list-style-type: none">・選書に関しては、本館の司書が分館のものも行っているので、選書の質の差はない。・かみーるは広くてどこに何があるか分かりにくく感じるかもしれない。香北分館はコンパクトな広さのため、見やすく感じることはあるかもしれない。・新着本はすぐに借りられてしまうため、少なく感じるとは思う。そのため、都市部の図書館では新着本コーナーを廃止している図書館もある。・配置等については、ディスプレイラック等を活用して面出しをするなどする。・香北分館、物部分館には意図的に良い本を回している。中央館、分館がある図書館はよく行う運用であり、オーテピア高知図書館も同様の運用を行っている。

事務局からの連絡事項

委員任期、第四次香美市読書活動推進計画の策定について説明。

3.その他

事務局からの連絡事項

なし